

vol.02  
2023  
しまねまちなび

しまね  
十九  
02

しまね

TAKE FREE

しまねまちなびの役目は、  
島根県を構成する19市町村に  
スポットを当てること。  
わたしたちにしか  
見えない、言えない  
市町村の魅力を  
たくさん知っています。

<https://www.shimane19.net/>

「ためになる」より「好きになる」。 1  
 ちょっと珍妙な神の使い。 5  
 古代出雲に捧げる 5  
 かんなび山登山!  
 知夫村ため記 7  
 誰得キッチン 9  
 土笛の聖地・島根! 11  
 島根ちよい珍植物図鑑 13  
 畏怖ってる。 15  
 端っこの橋。 19  
 おかえり、石号 21  
 島根(偏愛)酒部 22  
 巨大迷路ドラゴンメイズ 25  
 座敷わらしさんこんにちは 26  
 君の縄 27  
 レアあり図 28  
 気になる、奇になる。癪祭 29  
 春の女神と妖精と 33  
 水遊びしようぜ! 35  
 そこらへんサファリパーク 37  
 WE♥KAIGUI 39  
 十九文庫 41  
 しゃもじアイランド 43  
 浜田の珍自販機 44  
 絶対、人と被らない土産 45

# Oki

隠岐地方



# West

石見地方

# East

出雲地方



「ためになる」より「好きになる」。

# 19

島根県は19の市町村できています。東西に長かったり島もあったり、文化も方言も人々の気質もずいぶん違います。

わたしたち【しまねまちなび】は、そんな19の市町村を応援する存在。東へ西へ島へ駆け回り、設立から10年の歴史の中で、19市町村の様々なもの・こと・人々と出会いました。【しまね19】では、そんな19市町村のあまり知られていない魅力の一部をご紹介します。

質より量より愛で勝負。読み終わる頃にみなさんの「推し市町村」が増えることを願って。



ちよこんと座る  
子狛犬がキュートも。

entry  
No.3

西暦奇数年の9月頃に行われる美田八幡宮例大祭では祭礼が奉納され、なかでも「十方拝礼」と呼ばれる田楽は国の重要無形民俗文化財に指定されている。由緒ある神社では仲睦まじい親子の狛犬がお出迎え。



## 美田八幡神社

みたはちまんじんじゃ  
隠岐郡西ノ島町大字美田2177番地



写真提供：(一社)隠岐ジオパーク推進機構

## 白髪神社

しらひげじんじゃ  
隠岐郡隠岐の島町飯美北山1番地380

境内にある榊の木に7回り半巻きつけられた、地区民総出で編んだ40mもの藁蛇。飯美地区に田んぼはないため、藁蛇を作る軽トラック2台分の藁は他の地区から調達。年によって変わる藁蛇の表情を要チェック。

entry  
No.4

顔の癖が強すぎる  
藁蛇様。

ひよつとして  
ヘンゲ中?  
尻尾だけ狸の狐。

松江城二の丸にあり、松平直政公の御霊を祀る松江神社。その境内社である福德稻荷神社は2021年に遷宮が行われた。新しくなった狐様は、太めの尻尾がまるで狸！

# 珍妙な 神の使い。

ちよつと

back

side

最上級のお辞儀？  
逆立ちする狛犬。

奈良時代に創祀されたといわれる神社。田畑に囲まれたのどかな雰囲気はジブリの世界そのもの。全国的にも珍しい逆立ちした狛犬に出会える。少しふっくらしたお腹がなんとも愛らしい。



神社前の風景

entry  
No.1

## 大歳神社

おとしじんじゃ  
浜田市弥栄町小坂248番地乙

front



## 松江神社 境内社 福德稻荷神社

ふくとくいなりんじんじゃ  
松江市殿町1番地

entry  
No.2

# 古代出雲に捧げる かななび山登山!

「神の隠れこもる山」を意味する「神名火山」は全国に複数存在する。島根県には「出雲国風土記」に記される4つのかななび山があり、不思議なことに宍道湖を中心にバランス良く配置されている。たまたまか、はたまた意味があるのか?。古代ミステリーに胸をときめかせつつ、とりあえず4つの山へレッツゴー。



登山の  
ポイントとは、  
草刈り  
後か否か。  
雨上がり曇り  
ちゅうずやま  
茶白山  
意宇郡神名樋野  
(おうぐん かななび山)  
171m

低いながらも富士山のような末広がりの姿が美しい茶白山。古代出雲の政治・文化の中心地であった意宇平野の北側にそびえる。ふもとは、県内最大級の前方後円墳山代二子塚古墳、出雲国庁跡、眞名井神社、国引き神話にまつわる意宇の杜などがあり「古代人にとっての重要な地でしたよ感」が満載。閑静な住宅街の中に、突如現れた

西登山口から入ってみる。春秋には気軽に楽しめるハイキングコースとして親しまれているが、草刈りの前で超険しいコースに。まっすぐの道は傾斜がきつく、滑らないように石や木材の段差が敷いてある場所もある。頂上手前で南登山口コースと合流。30分弱で山頂到着。東に大山・中海、西に宍道湖を一望し、素晴らしい眺望を満喫した。



休憩所 澄心庵内

修行にも  
おすすめ?  
ハード系  
登山。  
やっとな晴れ  
おおぶねさん  
大船山  
楯縫郡神名樋山  
(たてぬいぐん かななびやま)  
327m

日山石段入口に入り損ね、古浦側入口の東ルートから傾斜のきつい山道へ。「修行かな?」と思いつつ進み、ようやく石段ルートに合流すると、突然快適なハイキングコースに。入山から40分以上をかけて朝日寺に到着した。「澄心庵」と看板のつく休憩所には、お茶やお菓子、レトルト食品やカップ麺、ラムネなどが無人販売されており、昭和そのものの雰囲気癒やされる。(道を間違えたせいで)あんなに大変だったのに、その頃にはまた来ようと思っていた。

こんもりと半ドーム状の山で、隣の鍋池山と一連の山系をなす。出雲国風土記に「みねの西に石神あり。」とあり、「烏帽子岩がこの石神にあたる」と考えられている。すぐ近くの



烏帽子岩

滝壺付近では、弥生時代末から古墳時代にかけての土器が出土しており、古代人の信仰を集めた場所では?といわれている。入口に備え付けてあった竹杖を手に進む。さっそく急な傾斜が続く。晴れ登山だというのに、鬱蒼とした竹林は少し不気味。薄暗くじじめとした山道は未知なるキノコの世界!キノコ撮影会をはさみ、やっとな到着した頂上は木で囲まれて眺望がなく、少し休んで2000m先の烏帽子岩へ向かう。烏帽子岩へは、ロープで急勾配の岩肌を降りないと近づけない。木々に囲まれ近づかないと見えないが、近づくとカメラの画角におさまらない。手強いぞ!烏帽子岩!「山頂からの眺望」というご褒美なしで、凸凹の道をひたすら進む登山になった。

あぁ、  
神も仏もある。  
時々  
小雨の曇り  
ぶつきようざん  
仏経山  
出雲郡神名火山  
(いずもぐん かななびやま)  
366m

神の山から仏の山へ変わったという珍しい歴史がある仏教山。出雲国風土記には、山頂に曾伎乃夜社が鎮座すると記されているが、現在はふもとの曾根能夜神社としてある。戦国時代には、篤い仏經の信仰心をもつ尼子経久が、12の寺を建てて名を仏經山に改めた。さらに、江戸時代には無縁仏を祀るための石塔が一夜にして建てられたという伝承もある。

登山道の道幅は比較的広く、道案内の目印や足場、手すりが設置してある。鞍掛山との分岐点から仏經山ルートへ進むこと30分弱、竜の頭のような「竜岩」を発見。まもなく山頂かというところで傾斜が急になり、ロープにつかまりながら登る。展望広場は開放的で眺めが素晴らしい。出雲平野や宍道湖を眺めつつ



仏経山からの眺望



竜岩

至福のランチタイム。そしていよいよ大岩が点在する場所へ。一際目を引く大きな岩は「鏡岩」と名づけられていた。この大岩こそが神名火山の磐座という説もあるとか。児童たちの遠足スポットにもなるほど、4つのかななび山の中で一番登りやすく、景色も最高の山だ。

登れば、  
心が  
澄みわたる。  
曇りときどき雨  
あさひさん  
朝日山  
秋鹿郡神名火山  
(あいかぐん かななびやま)  
342m

県立自然公園に指定され、東のふもとは、佐陀神能で知られる佐太神社がある。山頂には朝日寺があり、登山道は全て朝日寺に通じている。八方を見渡せる山頂では、北に日本海、南に宍道湖、天気の良い日には隠岐の島、大山、三瓶山まで見通せるとか。「立派で歩きやすい」で有名な朝

隠岐諸島のひとつ知夫里島は島根県唯一の村。一島一村、人口約600人、繁殖牛約1000頭、たぬき約2000匹がのどかに暮らしている。豊かな自然と一度見たら忘れられない大パノラマの絶景が魅力だ。さて、お気づきだろうか。「たぬき約2000匹」の違和感に。

市町村における平均たぬき数は分からないけれど、どう考えても多い。知夫村は実は「たぬき天国」と呼ばれていて、人間よりはるかにたぬきが多く、ざっくりと「島民1人につき約3たぬき」の計算になる。

そもそもなぜこんなにたぬきが増えたのか？はじまりは1941年に遡る。当時の知夫村長に、なぜかつがいなたぬきが寄贈された。あまり馴染みのない贈り物だ。村長の名前から「弥太ダヌキ」と命名された。村長は島民もたぬきに会えるよう、役場の前にたぬき達が暮らす檻をつくった。しかしある日突然、二匹は姿を消す。穴を掘って檻の下から逃げてしまったのだ。そして逃げたたぬき達は、食料が豊富にあり、天敵である犬などが少ないこの島で、大繁殖を遂げることになる。

村ではそんなたぬきをいつそのこと観光の目玉にするべく餌付けに取り組んできたが、怖がりで警戒心の強いたぬきは逃げるばかりで計画は難航。一時たぬきを柵で囲う「タヌキパーク」をつくる計画もあったが、結局自然のまま見せる形にしたという。たぬきは牛と比べて臆病で写真を撮るのが難しいが、時々牛が牧草を食べている近くを、たぬきの夫婦が横切っていく光景に出会えるそうだ。外から聞いているとなんだかほっこり癒やされる知夫村たぬき話。けれど本来島にいないはずのたぬきがやってきたことよって生態系のバランスが変わったのは明らか。畑を荒らしたり家畜の餌を食べるなどの被害もあるという。それでも「たぬきとの共存方法」を考える島の人々の想いが、自然と人のあり方を考えるきっかけをくれた。「たぬき天国」にぜひ行ってみたいくなるのだった。



ナカヨクヤロウゼ

### ぼんぼこ小話

河井のたぬき地藏さんの水  
かわいたぬき地藏の傍らに湧き出るのは、島根の名水にも選ばれる清水。「たおされてもぬかれてもきぼうをもて」。たぬきからの激励がアツい。



### 他ぬき焼酎

キャッチコピーは「一口飲むとライバル(他)を抜き去る」。知夫里島の本格米焼酎。





## 神聖なる デトックス・メンマ

マコモダケのメンマ

**龍得ポイント**

刻んで餃子のタネにしたり  
チャーハンにいれてもよさそう。

浄化力に優れることから邪気をはらうとされ、神事に使われたりしめ縄の材料になったりと、神聖なイメージのあるマコモ。マコモの茎が肥大してできるマコモタケは栄養も満点で、特にデトックス効果が期待できるとか！栄養とデトックスはさておき「神聖」な食材はなかなかない。ありがたく、心を込めて、神聖なるメンマに。歯ごたえが良く、甘みも感じて美味しい！トッピングはもちろんそのままおつまみでもおすすめ。



**龍得ポイント** 透き通ったすまし汁ではなく濁った味噌汁にすることで、より不気味な雰囲気を出せる。



## 実は、 亀でも貝でも ありません

亀の手みそ汁

島根の珍食材といえば「亀の手」。旬の時期になるとスーパーで売られていたり、居酒屋メニューにもある定番食材だが、はじめて見た人は大体ぎょっとする。亀の手に似ていることからつけられた名前でも、貝っぽいのに実は甲殻類の一種。亀でも貝でもないややこしい存在。ビジュアルの癖に反して、味は癖がなくおいしい。いい出汁が出るらしいと聞き、殻まるごと味噌汁に。見た目は「底に亀が生息する沼」。しかし出汁も身も美味しい！

こんな食べ方、  
どうですか？

キミチ

# 誰

# 得

Dare Toku  
Kitchen



## 見た目のインパクトは 揚げても健在

ウチワエビフライ

殻ごと塩焼きや、汁物として楽しめることの多いウチワエビ。「伊勢海老よりも美味！」との噂もある上にこの大きさ。「美味しくて、食べごたえのある最高のエビフライができるのでは!？」と、まるごとエビフライにチャレンジ。硬い殻を必死で剥き、気づけば食べられる部分はほんのわずか。伊勢海老より繊細で、味はぶつうの海老より濃厚。ちょっと蟹っぽくもある。たしかに美味！ただ…がんばったのに3口で食べ終わってしまう。

**龍得ポイント** 刃を入れるなら関節。弱点は甲冑と同じ。

味が特殊、手間がかかる、素材が独特、見た目に難あり…など、  
つくことも食べることも少なめな  
ご当地珍メニューを紹介。



パツカン!

**龍得ポイント**  
その日の気分で  
つぶあんか  
こしあんを選んでネ!

## 甘い?しょっぱい? おやつ?ご飯?

饅頭茶漬け

島根県津和野町出身の文豪・森鷗外は、大の甘党だったという。甘いものをおかずにご飯を食べるのを好んだとされ、饅頭茶漬けは森鷗外の長女の著書にも記されている。鷗外を象徴するメニュー。ご飯の上に割った饅頭をのせて煎茶をかける。「ぜんざいやおはぎみたいで意外といける」などの声もあるが…。酢豚のパイナップルが許せないタイプの人にはハードルの高い食べ物か!?

写真提供:津和野町日本遺産センター



## はじめまして、土笛です。

「土笛」をご存知だろうか？読んで字のごとく、土でできた笛(のようなもの)だ。卵形で中が空洞になっていて、吹き口らしき穴と、側面に4つ、その対面に2つの小さな穴が空いている。使用方法は諸説あるが、笛として使用されていたとの説が濃厚だという。

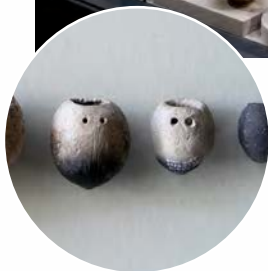
## 銅剣？銅鐸？

いいえ、土笛です。

九州北部から京都府北部まで、出土がすべて日本海沿岸部に集中していることから、稲作文化とともに朝鮮半島から渡ってきたのでは？ともいわれている。そして全国約100個出土中、島根からの出土が64個。なんと全体の約6割以上だ。知らなかった！島根県は日本一の土笛県だったのだ！土笛が何かは謎だけれど、すごい！銅剣や銅鐸は有名だが、土笛、和製のオカリナのようなもの？とイメージしつつ、さっそく土笛が眠る島根県埋蔵文化財調査センターへ。

## 島根の出土品、全員集合。

島根県埋蔵文化財調査センターは、県内の埋蔵文化財を調査・研究する施設。道路建設などの事業が行われる時は事前に遺跡が調査され、そこで出土した土器や石器などの遺物も収蔵・管理している。県内で出土したものはすべてがこのセンターに集まり、その中から博物館の企画展などの展示品が選ばれる。展示されないマニアックな出土品も、すべてここに集合。調査成果を知ってもらうための展示室は、なかなか見応えがある。



なぜか大量に出土

# 聖地・島根！



## 謎が謎を呼ぶ土笛。

こんな大きさ

地層の模型や土器など、埋蔵品や発掘情報が所狭しと並ぶ展示室に、お目当ての土笛たちを発見。思っていたよりも様々なサイズや形があり、固定して置かずコロコロと転がる。土器と同じ文様がつけられたものもあり、つくられた時代のヒントにもなっているという。並んでいるのを眺めていると口を大きくあけた「土笛合唱団」のように見えてきた。実は64個中51個が松江市西川津町にあるタテチヨウ遺跡と西川津遺跡から出土している！なぜこのエリアに多いのかは謎。昔は西川津は海に面していた？土笛の産地だった？祭祀か何かで使われた形跡？ひよっとしたら笛じゃないのか？推理してみたものの、答えは謎。それも土笛のおもしろさだ。わかったのは、土笛には謎が多いということ、思っていたより可愛いということだ。

ひよっとしたら笛じゃないのか？

の産地だった？祭祀か何かで使われた形跡？

エリアに多いのかは謎。昔は西川津は海に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

している！なぜこの

エリアに多いのかは

謎。昔は西川津は海

に面していた？土笛

## おまけコーナー

### 土笛(想像で)

使ってみた

香炉として



ハムスターの家



穴にドライフラワーを挿してインテリアに



ベク杯

(穴あきのおちよ)として酒盛り



ピューっつとふく

# の土笛



※展示室の見学は開館時は自由。今回は取材のため、特別にご案内付き。

## オキシクナゲ

隠岐の島/4月下旬～5月中旬

山の花の女王を守りたい。  
隠岐固有のとても貴重な花。  
乱採され絶滅した地域もあり、ごく限られた地域にのみ生育している。  
斜面が一面ピンク色に染まる様子は圧巻。野生動植物保護地区で保護されている。



## サンカヨウ

飯南/5月

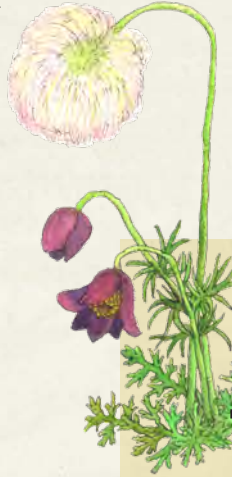
水も滴る、いいお花。  
山地～高山帯で見られる山野草。  
可憐な白い花は、雨や露に濡れるとガラスのように透きとおる。その儂い姿から「森の妖精」とも呼ばれるとか。



## オキナグサ

大田・飯南/7月下旬～8月中旬

翁よ! 絶滅しないで!  
しまねレッドデータブックで「絶滅危惧Ⅱ類」に選定。タンポポのように種に白く長い毛がついている多年草で、風にそよぐ様子が老人の白髪に見えることから「オキナグサ」と名付けられた。



# 島根ちよい<sup>珍</sup>植物

自然に恵まれた島根県には、



## 四カ村<sup>しかむら</sup>

松江/12月上旬

不昧公絶賛の椿。

松江藩主・松平不昧公が道沿いに咲く椿の樹をみて「この近隣の四つの村を見渡しても、これ程の名花は見たことがない」と命名。それ以来、代々大事に守り育てられている。

## センノウ

出雲/7月下旬～8月中旬

幻の花が島根県に!?

京都の嵯峨仙翁寺で栽培されていたことから、「仙翁<sup>せんのおう</sup>」と命名された。絶滅したと思われていたが、1995年に島根県の栽培家によって栽培されている事がわかり話題に!



# 図鑑

ちょっと珍しい植物がたくさん。

イラスト: かげやま まき

島根県生まれ島根県在住。山脇美術専門学院に学びイラストを描きはじめ、現在は挿絵や工作のワークショップなども行う。初めての絵本作品は「ジークンとバケツたんけんたい」(岩崎書店)。

## 万葉公園の鬼の木

益田

すごいぞ! made by 自然  
猿田彦大神の道祖神の隣にある、  
樹齢200年のスダジイに、石見神楽の面の様なコブが出現。自然に出てきたのにクオリティが鬼高い!



## 黄雲<sup>こううん</sup>

奥出雲・邑南/12月頃～3月頃

県のイチオシ! オリジナルエノキタケ  
「黄色」と「出雲」を組み合わせた島根県オリジナルエノキタケ。県内各地の野生のエノキタケを研究して開発。淡い黄色、大きな傘、弾力のある歯ごたえ、コクのある味が特徴。





神聖な場所は美しく、  
空気が違い、そして少し怖い。  
人間と人間じゃないものとの  
境界がぼやける、  
”怖い”と、”尊い”が押し寄せる場所へ。

畏怖いふつてゐる。

「パワースポット」という言葉では言い足りない。



西ノ島町

## 焼火神社

たくひじんじゃ

標高451.7mの隠岐島  
前の最高峰・焼火山にある焼  
火神社。創建は1000年  
頃とも、838年より前と  
もいわれる。山の中腹にあ  
る焼火神社は、島前3島の  
間を航行する船からよく見  
えるため、昔は境内の明か  
りが灯台の役割を果たして  
いた。日本海の船人に海上  
安全の神と崇められてい  
る。もとは焼火山雲上寺と  
して焼火権現が祀られてた  
が、明治以降に焼火神社と  
改称。駐車場から社殿まで

およそ800m程度登山に  
なるが、息を切らしながら  
登った先にある本殿を見て  
息をのむ。独特の存在感を  
放つその本殿は、火砕岩の  
岩壁にできた洞窟に築かれ  
たもの。平成4年に国の重  
要文化財に指定された隠岐  
諸島最古の木造建築物だ。  
知夫里島と西ノ島の間の海  
上から浮かび上がった「3つ  
の火の玉」が、菩薩の形をし  
た岩に入りそこに社殿を設  
けたのが焼火神社の起源と  
もいわれる。

夢にみたら、必ず死ぬ。

出雲市

## 猪目洞窟

いぬめどうくつ

幅約30m、奥行き約30mのその洞窟は、奥へ行くほどに天井が低くなり暗く、ぼつ：と水の滴る音だけが響く。傾斜の強い崖の隙間はまさに「猪の目」。現在洞窟は船の停泊場所になっていて、地元の人たちの生活感が見え、少しだけほつとする。



猪目洞窟は出雲国風土記に「夢で猪目洞窟を見た者は必ず死ぬ」とはつきり記されている。また黄泉の国の入口であるともいわれ、松江市東出雲町の「黄泉比良坂」と同じ伝承がある。洞窟は昭和23年の工事で堆積土を取り除いた時に発見されたのだが、

その堆積土から弥生時代から古墳時代にかけての人骨が十数体発見されたのだ。「夢にみると死ぬ」「黄泉の国の入口」「人骨ゴロゴロ」。人々がここを恐れる理由は十分すぎるほどに有るのに、洞窟には小さな祠がポツンとあるだけ。逆に怖い。

出雲市猪目町1338

今も残る、巫女による神懸かり。

海士町・西ノ島町・知夫村

## 隠岐島前

## 神楽

おきどうぜん かぐら

石見神楽が「見て楽しむ神楽」だとすると、隠岐神楽は言うなれば「祈り・捧げる神楽」。神社への奉納に限らず、豊作・大漁祈願、雨乞い、航海安全などの祈祷の意味合いも強い。隠岐神楽は、隠岐島前神楽と島後神楽に大別される。

隠岐島前神楽の特徴の一つが、舞台の小ささ。二間四方（8畳の正方形）で、奏楽が4畳、舞人が残り4畳を使う。速めで賑やかな囃子に



写真提供：海士町役場

あわせ、限られた舞台でいかに大きく躍動感のある舞いを見せるかが演技力の要。また島前神楽ならではの演目・大蛇退治の「八重垣」もある。そして、もつとも特徴的なのが巫女による「神懸かり」の形が保存されていることだ。一般的に神楽において女性に舞台にたつことは少ないが、島前神楽では古くから巫女が重要な役割を担っていたことがわかる。海士町と西ノ島町の隠岐島前神楽は県指定無形民俗文化財に指定されている。

険しい参道の先に見えるもの。

## 韓竈神社

出雲市

からかまじんじや

「島根屈指のパワースポット」として名が上がる韓竈神社。祭神の素盞鳴命が新羅からタタラ製法や鍛冶技術などの鉄器文化を伝えたことに由来し、韓竈の「竈」は溶鉱炉を意味するともいわれる。駐車場から鳥居までの一本道を歩くと、背の高い木々の間から差しこむ光がなんとも

神秘的で、一步一步心が清められていく。

鳥居の奥には、苔むした石段がおよそ300段、見上げるとような勾配を約15分登ると、大岩が立ちふさがる。幅45cmの岩の割れ目が参道になっている。ここを女性の産道に見立て、通り抜けると子宝に恵まれるといわれる。カニ歩き

でようやく抜け出た先には、岩壁にひっそりと佇む本殿が。カニ歩きの興奮が立ち消えてしまうほどの、凛と厳かな雰囲気。急勾配の階段、岩の隙間の参道、ひたすら前に進むことで、無意識のうちに心が無になるのかもしれない。



出雲市唐川町408



いつなくなるか分からない  
貴重で美しい橋。  
**通天橋**

つうてんきょう

西ノ島町浦郷

大地が海水により少しずつ侵食されてきた、巨大な岩の架け橋。大山隠岐国立公園に指定され、約7kmにわたって巨岩奇岩が続く国賀海岸の代表的な奇岩で、天上界への架け橋のように見えることからその名が付けられた。一生に一度は訪れたい「遊歩百選」に認定される摩天崖遊歩道沿いにあり、自然の中で刻一刻と変化しつづける絶景スポットで、鮮やかな地層もはっきりと見ることができる。さらに通天橋沿いの海をのぞくと、その透明度の高さに驚く。摩天崖周辺を観光船でめぐると、陸とは違った迫力を味わうことができる。通天橋は日々浸食が進み、荒波によって大きく崩落したことも。長い時間をかけて自然が生み出した造形的美しさと、それ故にいつなくなるか分からない儚さが、この橋の魅力なのだ。

島根県吉賀町と山口県岩国市を結ぶ、美しい赤いアーチ状の橋。下を流れる深谷川は、島根県と山口県の県境となる、巨石、怪石で知られる深いV字型の渓谷。その高さに思わず足がすくみつつも、眼下に広がる深谷美は見事。周囲の木々の緑と赤い橋のコントラストは絶景で、特に秋になると、色とりどりに染まる原始林の風景に目を奪われる。知る人ぞ知る紅葉スポットだ。橋は長さ約100m、水面からの高さが約80m。見下ろすのを躊躇するほどの高さだが、なんと平成20年まではフェンスがなかったとか…。高所恐怖症はそれを聞いただけでゾワッとする。島根県側のみ駐車スペースやトイレ、さらに「深谷公園」という公園もある。橋の近くには、島根県側に「むいかいち温泉ゆらら」、山口県側に「深谷峡温泉 清流の郷」があり、どちらも車でおよそ10分程度。ドライブがてら温泉に行くのもおすすめだ。



吉賀町田野原

高所恐怖症の人は要注意。

**深谷大橋**

ふかだにおおはし



かわいい別名もあり。  
**境水道大橋**

さかすいどうおおはし

松江市美保関町森山

島根県と鳥取県の間を流れる、最大幅約600mの一級河川「境水道」を横断し、島根・鳥取をつなぐ境水道大橋。昭和47年に開通し、平成14年まで有料道路であったことを覚えている人も多いだろう。橋は全長709m、幅8m。1万トクラスの船舶も航行するため、橋の中心部の橋脚間が大きかったり、水面からの高さを40m確保するなど、大型船舶もゆったりと橋下を航行できるように設計されている。さらに松江市側は標高約50m、境港市側はほぼ0mと、兩岸の高さに大きな差が。橋の頂部が中央より大きく島根県側に寄る「左右非対称」のアーチ形状であることも特徴の一つだ。橋がない頃、川の横断にはフェリーボートや民間渡船が使われていたが、橋の開通後、次々と姿を消していった。互いに観光資源をもつ兩岸を短時間で結ぶことで「観光のかけ橋」にもなっている。そんな意義深い橋の別名は「おさかな大橋」で、突然親しみを感じる。



島根県が接する、鳥取県、広島県、山口県。その県境にある橋や、大自然が生み出した橋など「どこかしら島根の端っこにある橋」をご紹介します。意外と珍しいのだ。

**端っこの橋。**

border bridge

旧JR三江線 邑南町宇都井

珍しい2階建ての橋！  
**第三江川橋梁**

だいさんごうがわきょうりょう

島根の宇都井駅から広島伊賀和志駅へ向かう県境にある、今は廃線となった鉄道橋。橋の真ん中あたりに「県境」の看板がある。上部をJR三江線が走り、下部が歩道として使われた、全国でも珍しい上下構造の橋だ。宇都井大橋がかかるまでは、人々はこの歩道を通って江の川を渡り、対岸と行き来していたという。水面からレール面までの高さが30mと、三江線全区間の中で最も高いのも特徴。車窓からの眺めは、さぞ気持ち良かったことだろう。橋を渡ってトンネルを抜けると、地上20mにホームがある天空の駅・宇都井駅に到着する。JR三江線の廃線とともに、現在橋は立入禁止。渡ることはできないが、下からみるだけでもその佇まいは美しく迫力がある。また、トロッコ列車で橋を渡る取り組みもあり、ここにしかない絶景を見られるチャンスが訪れるかもしれない。要チェック。



「日本酒発祥の地」として有名な島根県だが今回は焼酎特集。気になっていた焼酎を、飲むこと・飲まれることをこよなく愛する十九チームが酔っぱらいながらレポート。

※あくまでも個人の感想です。

覚えてます! 途中までなら!



1杯目  
「海藻を気配で感じるのが良い」

隠岐の島町  
海藻焼酎いそっこ / 隠岐酒造

(おすすめの飲み方) ロック、ストレート、水割り(水少なめ)  
(おすすめおつまみ) 刺身、焼き魚など

まず最初にあけたのが海藻焼酎。蓋をあけるとふわっと磯っぽい香り。そのままストレートで飲むと、一気に海藻が押し寄せてきた! 一口目はすぐ海藻の味。飲み慣れると海藻が遠のくが、おつまみをはさんで飲むとますます海藻を感じる。どれくらい海藻を感じるかというと「炙りワカメの茎を噛んだ後の口」くらい。味がすごく海藻! というよりは「海藻の気配」を楽しむ感じ。そして特に印象的だったのが、舌触りのまるさ。軟水みたいになめらか。水で割るとさらに磯の香りが広がった! 「居酒屋でボトルキープしたい」そんな存在感のお酒だ。

# 酒部

島根

偏愛



2杯目  
「あなたにはもっとツーンとして欲しいかった」

益田市  
わさび焼酎 / 岡田屋本店

(おすすめの飲み方) ロック、ソーダ割り  
(おすすめおつまみ) わさび、麻婆豆腐など味の濃いもの  
2本目の瓶に手を伸ばす。「めちゃくちゃ山葵の匂い」「線香花火みたいな匂いする」「言われなかったらわさびと気づかないかも」など、香りの時点で興味津々。わさびの「ツーン」を想像しつつ、恐る恐るストレートで飲んでみると「辛味のないわさびの味」という印象。生のわさびより、わさびの加工品の味のほうがイメージに近い。水で割ると香りを変化して、よりわさび感が薄れた。わさびの辛さや香りを求める人にとっては少し物足りないかも? ソーダで割ると強い香りが少しまろやかになった。好みが分かれそうな、個性の際立つお酒だ。



3杯目  
「ましがいないやつ」

出雲市  
本格蕎麦焼酎 そば風土記

(おすすめの飲み方) ロック、お湯割り  
(おすすめおつまみ) 蕎麦、おでん

そろそろ蓋を開ける手が(間でビールをチェイサーに飲んでいるため)おぼつかなくなってきた3杯目。出雲でつくられた蕎麦の実だけを使って、出雲の地で醸造された、純出雲産のそば焼酎。「蕎麦の香りがふわっとする!」「これは和食に合うぞ〜」と酔っぱらっていてもその香りの良さが分かる。これは食中酒にぴったり! そばには日本酒をあわせるイメージがあるけど「蕎麦に合わせて飲んで、これでもかってほど蕎麦を感じるのもいいかも」。



4杯目  
「いっそ頭からかけて欲しい」

益田市  
HIKIMI 烏樟森香25度 / 葵屋

(おすすめの飲み方) ロック、ソーダ割り、カクテルなど  
(おすすめおつまみ) ナッツ、ドライフルーツ、ビターチョコ

ラストを飾るのは「まずラベルが素敵」なクロモジ焼酎。クロモジは枝や幹などの香りの良さが魅力の落葉広葉樹で、爪楊枝や箸、香水などの原料になる上、胃の調子まで整えてくれるスーパー植物。蓋を開けるとうっとりするようないい香り。「香りが甘い」「香水にしたい」「全身に浴びたい」と香りだけで大騒ぎする酔っぱらい達。ストレートで飲んでみると「喉を通った後も口が甘い」「これを飲み続けたら体臭がいい香りになりそう!」「烏樟森香って名前の印象がびったり。澄んだ深い森がみえる」と人気。そのままはもちろん、ジンのようにカクテルにも使えそう。ただしトニックのような香りのあるもので割るとせっかくの香りが消えるので要注意。

# おかえり、石号

「大切な相棒だから」と何度も断るも、素晴らしい日本犬を欲しいと、残したいと、

日本中・世界中で大人気の柴犬。世界中に約60万頭いるとされるが、そのすべての父系統の血統をさかのぼると、1匹の犬にたどり着く。昭和の初め、益田市美都町にいた石州犬(石号)だ。

下山信市さんという腕利きの猟師と

強い申し出に、石との別れを決意する。故郷から離れた石と、四国生まれの雌犬「コロ」の間に「アカ」が生まれる。このアカが正統な柴犬の源流犬とも言われるようになる。けれどその後、悲劇が犬たちを襲う。戦争がはじまり、人が食べていくことさえままならなくなり、犬を飼っているだけでも白い目でみられるように。犬を守ることは今では想像できないほど困難なことで、多くの犬たちが命を奪われていった。アカの子どもたちを育てていた坂口仁さんもまた、空襲の夜に泣き

ながら「きつと生き延びて帰ってきてくれ」と犬たちの首輪をはなすことに。多くの日本犬が戦争や疫病などで血統が途絶える中、石の血統だけは絶望的な状況の中、奇跡的に脈々とつながって、柴犬のルーツとなり、「強運の犬」としても知られるようになった。そして長い年月を経て、石は石像となり故郷に帰ってきた。町は「東の八子公、西の石号」と呼ばれることを目指しているという。

3.「石号」の故郷・美都町二川地区にある石像と石号資料館

1.「石号ものがたり」:文・かわべまゆみ 絵・もりおかあや 発行・株式会社ニコモ/2.強運コロッケ:石の硬い毛並みは粗挽きのパン粉で。猟犬だったことから中には猪肉を使用。パートナーの黒柴・コロは、イカ墨パウダーで真っ黒に。/3.「石号」の故郷・美都町二川地区にある石像と資料室:2つの石像に隠された「石」の文字を見つけたら強運になるとか。もう1つの石像は美都温泉湯元館に。



布施の山祭(ふせのやままつり) / 隠岐の島町 詳細はP29「癖祭」へ



# 大



# 巨大迷路 ドラゴンメイズ



かまいたちとトリオになった気分になれる顔出しパネル



迷路の入り口には「HAPPY」の石像。



松江市の閉店した「キャサバル」にあったお地藏さんが「ハッピー地藏さま」と改名してここに!

島根県民なら、国道9号線に建っている看板を一度は視界に捉えたことがあるだろう。「陽だまりの丘 巨大迷路ドラゴンメイズ」は、その看板からめちやくちや離れた雲南市大東町に現れる。のどかな田園風景の中に現れるカラフルな建物。陽だまりの丘には、山陰最大級を謳う3つのコースからなる「巨大迷路」「グランドパークゴルフ・狸ばやし」などの遊び場、パークキューやそうめん流しが楽しめる食の場、宴会などにびったりのカラオケ付きレンタル劇場、お手製の神社、四季の花が楽しめるお庭。さらにいわゆる「映えを狙った撮影スポットも充実。楽しさと癒し、大人の遊び心がこれでもかというほど盛り込まれ「カオス」という言葉がぴったり。とにかくどこもかしこも気になって



地球という星に生きている人々が平和に暮らすことと「宇宙探査機はやぶさ2号」の成功を祈ってつくられた宇宙神社。



どこかのお宅のドアなどを再利用して建てられた通称「宇宙ステーション」からの景色。

心の駅 陽だまりの丘  
雲南市大東町上佐世294 TEL.0854-43-8181

# 座敷わらしは はたご小田温泉 こんにちは



3代目主人のお手製タイル。ふすまの引き手にも使われている。

「座敷わらしに会える温泉宿があるらしい」そんなキャッチーな噂を聞いて、いてもたってもいられなくなりさっそく「はたご小田温泉」へ。「照明が薄暗く、謎の人影があり、床がなんだか湿っていて、女将が無表情で小声」と、勝手に怪しげなイメージをいだきながら宿へ到着すると、真逆の世界が待っていた。

旅館の横を流れる川のせせらぎと、列車のガタンゴトンがなんともノスタルジック。2021年に100周年を迎えた老舗宿は、風情あふれる佇まいが美しい。6室だけの小さな宿でありながらも、暖簾や小物、随所に飾られる絵や書など、隅々までおもてなしとセンスを感じる。そして何より女将やスタッフが明るくあたたかく、到着後すぐにホンワカ

した気分になった。しかし、そうなると逆に不安になるのが「座敷わらし、本当にいる？」というところ。おいしい昼食をいただきながら、女将に話を聞いてみると「大正時代からあった建物を、昭和の終わり頃に全面改築したんです。昔から変わらさずずっと座敷わらしさんがいらつしゃいます」とのこと。波長の合う方は座敷わらしの存在を感じるという。写真に光が写ったり、赤ちゃんがずっと何かを目で追っていたり、夜中に子どもの走る足音が聞こえたりすることも。「どこに行くの?」と話しかけられた人もいるという。

怖いイメージを持っていたが、座敷わらしは座敷や蔵に住む神といわれ、いたずらが好きで人懐っこく、見た人には幸運が訪れるという。「人の家にあらわれる」ともいわれる。建物を建て替えて壊す前、3代目の女

将はお部屋からトイレの個室に至るまで、すべてのお部屋に御礼を言ってみてくれたという。いただいた昼ごはんはおいしいだけでなく滋味深く、思いやりが味にあふれていた。座敷わらし好みの宿なのだろう。

手描きのタイルで美しく彩られた温泉、花や木の自然な生き方を大事にするお庭、毎日手拭きする廊下。座敷わらしでなくても、居着きたくなる心地よさだ。食事をしていると部屋の間から「パチッ」と音がした。気のせいかもしれないが、「座敷わらしさんが歓迎してくれた」と思うことにした。



はたご小田温泉  
出雲市多伎町小田208-3  
TEL.0853-86-2016



毎日入れ替わる  
黄金湯  
塩ヶ平  
温泉

国道沿いにあるのに…。こんなに目立つのに…。なぜかいつも通り過ぎていた建物「掛合まめなかセンター」。温泉好きに言わせると「教えてくれない名泉だという。日帰り温泉施設で、洗い場も湯船も小さく、休憩スペースなし、露天風呂なしなのにリピーターが多い。その理由は泉質の良さ！茶褐色の濁り湯は光の加減で輝く黄金色に。湯船の縁や床には湯の花がたまり、温泉成分の濃さが一目瞭然。午後からオープンとちょっと遅めなのは、毎日掃除をするため。毎日入れ替える、加水無しの100%源泉掛け流しなので、いつでも新鮮なお湯を楽しめる。男湯にはサウナも。ゆっくりと浸かれる少しぬるめの湯で、入浴後も体の芯からホカホカに。お肌のしっとり感も続く。

雲南市掛合町掛合821-1  
掛合まめなかセンター

全国でもめずらしい  
間欠泉  
木部谷  
温泉

約25分おきに湯やガスを地上2mほどの高さまで噴き上げる「間欠泉」。早い話が噴き上がる源泉！全国的に数えるほどしかないレア温泉だ。さらに「炭酸ガスの力で湧く」ことも珍しいポイント。しかも「泉質も素晴らしい」とされリピーターも多い。源泉へ向かう坂道のわきを流れる水路は、大気にふれて冷えることで現れる源泉中の温泉成分「湯の花」で一面が茶褐色に。少し待ってみると、無色透明の鉱泉が瞬間に白く泡立って、高さを増していき、まるで噴水のように。毎分200ℓ（最大400ℓ）噴出するという。源泉の裏にある一軒宿「松乃湯」では、この間欠泉の温泉が楽しめるから温泉成分が濃厚そう！

吉賀町木部谷529

いろんな意味での



偏な切り口で  
スポット紹介

# 君の縄

島根といえば神々、神々といえば神社、神社といえば縄(?)。ということで縄にまつわるスポットをピックアップ。



縄を手繰り合う姉妹  
なわくりじんじや  
縄久利神社



「若のように一生の命を持っているけれど美しくない」姉の磐長姫命と、「木花が咲いたように美しいけれど儂い」妹の木花咲耶姫の姉妹は、住居を見つげるため飯盛山へ上がった。姉はこの地を居に決めたが、妹は「もっと良い場所が見つかれば縄を引く」と伝えて大山へ向かった。ところがいくら待っても縄は引かれない。姉が縄を手繰ってみると縄が切れていた。切れた？切った？何があった？気になるところだが、その答えは不明。縄を繰る、縛くる、縛くり、縄久利というのが神社名の由来。磐長姫命は別名・牛飼姫命ともいい、牛馬の守護神として知られている。

「若のように一生の命を持っているけれど美しくない」姉の磐長姫命と、「木花が咲いたように美しいけれど儂い」妹の木花咲耶姫の姉妹は、住居を見つげるため飯盛山へ上がった。姉はこの地を居に決めたが、妹は「もっと



ちよっぴりクリスマス風？  
くまのたいしや  
熊野大社の夏越祭



一年の折返しにあたる6月30日に、半年間の罪や穢れを祓い無病息災を願う祭り。随神門に「茅の輪」と呼ばれる茅の草で作られた輪が取り付けられ、参拝者はそれをくぐる。各地の神社で行われる茅の輪くぐりだが、ここ熊野大社は少しだけ様子が違う。氏子たちの手作りである茅の輪は、直径約2.5mもの大きさ。そしてポイントには紅白の布が巻かれているところ。茅の草の緑とあいまって、赤・白・緑のクリスマステイストで華やかさ倍増。



まさに縄のテーマパーク  
大しめなわ  
創作館



出雲大社の神楽殿のシンボルでもある大しめ縄は飯南町でつくられている、というには有名なだろう。「もう少し近くでつくったほうが…」とも感じたが、飯南町では古くから大しめ縄の制作を担ってきた歴史があった。大しめ縄づくりは、前年の稲の田植えからはじまっている。専用の丈の高い品種を植え、穂がつく前に刈って乾燥させた後、手作業で傷んだワラを一つひとつよける。たくさんの方の技が文字通り「なわれる」ようにして美しい大しめ縄が完成する。大しめなわ創作館では、職人たちの作業を見学できる他、歴史の説明や、気軽にできるしめ縄づくり体験コーナーも。これぞ「縄のテーマパーク」。



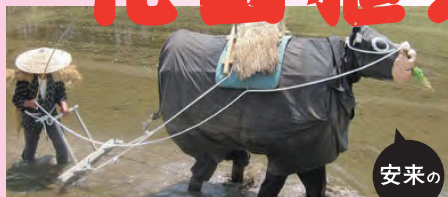


# KUSE 癒

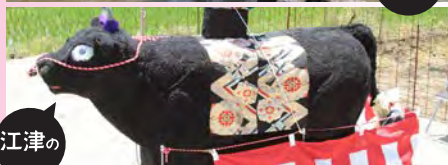
はなだうえ

## 花田植え

安来市・比田地区【時期】5月中旬  
江津市・跡市地区【時期】6月上旬



安来の



江津の

写真提供：江津市

とにかく牛の癖が強い。

早乙女が太鼓や唄に合わせて田植えをする行事。五穀豊穡や、牛供養などの意味合いを持つ。かつては本物の牛が登場していたが、安来市の比田地区では、今は手足が人で頭と胴体が牛の「逆ケンタウロススタイル」の牛が登場。また、江津市跡市地区では発泡スチロールを重ねてつくられた飾り牛が登場する。由緒正しき祭りだが、どちらも牛の癖が強くておもしろい。

## とろへい

飯南町  
【時期】新年最初の満月の日

お菓子をとったら  
水かけちゃうぞ！



「とろとろ～とろとろ～」と唱えながら、神の使者である子どもたちが家々を訪れ、ワラ馬を縁側に置き隠れる。家の人はお礼にお菓子などのお供え物を置き、お供え物をとりにきた子どもたちに思いっきり水をかける。水にぬれると1年間の無病息災が約束される民俗行事。子どもたちは悲鳴をあげながらも大喜び。なぜ「とろへい」かは謎。

# MATSURI 祭

地域の祭りには、歴史やら人の思いやら風習やら、その土地ごとの“癖”みたいなものが凝縮されていておもしろい。神々の国島根には、ちょっと珍しい神事もたくさん。突っ込まずにはいられないお祭りパラダイスへようこそ。

気になる、奇になる。

おしこしんじ

## 阿井八幡宮の押輿神事

奥出雲町  
【時期】10月1日



ムシャクシャしてやってるわけではありません。

「オセ！オセー！」活気に満ちた声が飛び交う。重さ120kgを超える神輿を投げ落とす、450年以上前から伝わる迫力満点の神事。落とされた神輿は男たちでもみくちやに。上地区と下地区に分かれた男たちの押し合い合戦は、相手組のエリアに押し込めた方の勝ち。勝った方の地区が豊作になると占われる。それにしても豪快の極み。

ふせのやまつり

## 布施の山祭

隠岐の島町  
【時期】西暦偶数年、4月第一日曜

痛くないよ！酔ってるから！



日本最古の巨木信仰ともいわれる。朝からお酒を飲み「木遣り歌」を唄って踊りながら神社に向かう。転んでも酔ってるから痛くない。大山神社では樹齢約800年の御神木に7回り半カズラを巻きつける帯締め神事を行うのだが、カズラを前後に揺さぶるため転倒する人が続出。でも酔ってるから痛くない。山の神様は女神で、男たちが騒ぐと喜ぶのだとか。とにかく酔ってるから何でもあり。





# KUSE 癒

あおふしがきしんじ

## 青柴垣神事

松江市  
【時期】4月7日

一年がかりで身を清める。

美保神社の祭神・事代主命(ことしろぬしのみこと)が、大国主命から国譲りの相談をうけ、譲ることを進言した後、海に隠れたことにちなんで、2隻の船が港内を一周する神事。主役である「当屋」は一年前から精進潔斎、神事前日に物忌潔斎に入り断食。「神がかった」状態で当日をむかえる。当屋がパワースポットそのもので、手に持つ扇を手に入れると縁起がいいとされる。入手方法はまさかの「奪い取り」!



# MATSURI 祭

## 清流高津川いかだ流し大会

益田市  
【時期】7月下旬  
~8月上旬

まずは、川を楽しむことから。

高津川の約6.5キロのコースで行われる。職場や地区、学校などの単位でつくられたチームが、手作りのいかだで挑む。「清流日本一」の復活を願い川を楽しむことで環境美化を訴えることが目的だが、注目すべきはなんといっても趣向を凝らしたいかだ達。アイデアいから、著作権ギリギリアウトなものまで、見ているだけで楽しい。



おきいぐりだこまつり

## 隠岐いぐり凧祭り

隠岐の島町  
【時期】4月の第2日曜日

春の空に舞うカラフルな凧達。

子供の誕生祝や無病息災を願ってあげられたのが発端で、江戸時代から隠岐に伝わる畳三畳ほどの大きさのいぐり凧。町の無形民俗文化財に指定されている。周囲にえぐったような10個の耳があり、もこもこ雲みたいでなんだか可愛い。絵柄は歌舞伎役者から恵比寿様、だるま、しまねっこ、さらにその年に生まれた子どもの名前が記されるなどフリースタイル。



がんふうじささぎまつり

## がん封じ笹酒まつり

雲南市  
【時期】4月の第2日曜日

ご祈禱しながら、爛もする!

柴燈大護摩供法要と山伏の行列が終わると、成覚寺(じょうかくじ)の本堂の横にある護摩壇に点火され、がん封じ息災長寿の祈禱が行われる。護摩壇のまわりは酒の入った竹筒で囲まれ「笹酒」と呼ばれる。笹酒は護摩壇の火によってほんのり爛酒に。この酒を飲むとがん予防の御利益があるとされるため、たくさんの方が群がる。すごく効きそう。

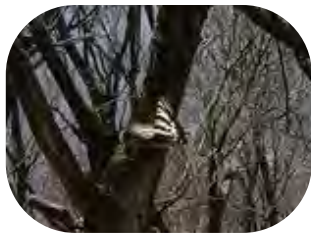


# 春の女神と妖精と



「大江高山で、春の妖精と春の女神に会えるらしい」そんなファンタジーな噂がまちなびに届いた。

「春の妖精」とは、鳥根県だけに自生するユリ科の多年草・イズモコバイモのこと。環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種にも指定される希少価値の高い花だ。「春の女神」とは本州の西半分だけに生息するギフチョウのことで、アゲハチョウの祖先種といわれ、こちらも絶滅危惧種。「4月上旬に大江高山に登ると、春の妖精・イズモコバイモと、春の女神・ギフチョウを同時に見る



春の女神“ギフチョウ”

## ▲登山スタート

「ことができる」と、川本町でイズモコバイモの保全活動を行うボランティアの方々から教えてもらった。妖精と女神のコラボレーションを見るべく、大田市の南西に位置する標高808mの大江高山へ。約200万年前に活動した火山から成り、世界遺産・石見銀山の銀鉱山を含む大江高山火山群の最高峰で、峻険でも知られる。



一般コースと呼ばれる約2.5kmの山田コース。健脚コースと呼ばれるのが約1kmの飯谷コース。山頂へと直に進むため、斜面がきついが短時間で登ることができる。意気込んで飯谷コースの登山口を目指すも、山が近づくとつれて怖気づき山田コースへ。しかし山田コースも急斜面は多く、木に手をかけてよじ登るところもあり、鈍った体にはこちらも十分ハード。けれど途中で「春の女神が葉の裏に卵を生む」とされる、ウスバサイシンなど珍しい植物も発見。春の女神が近づいている予感がしつつもまったく姿が見えないまま迎えた六合目。初めて開けた展望に感激したその時……

びゅんっ

待ちに待った春の女神が、目にも留まらぬ速さで横切った！早すぎてカメラでとらえられない。一般的なチョウの飛ぶスピードは分らないが、体感した春の女神はとても俊敏。なんとか



春の妖精“イズモコバイモ”

葉に止まっているところをカメラにおさめる。アゲハチョウを少し小さくしたような、可愛らしくも綺麗なチョウ。その後、チラチラと飛ぶ女神に励まされながら、1時間半をかけて山頂へ到着！と思いきや、到着したのは頂上808mではなく西峰779m。

心が折れそうになるも、登り始めてから約2時間半でなんとか頂上へ。春の妖精・イズモコバイモも、足元に咲いている。そして頂上から遠くに望む三瓶山の美しさ。その頃には折れそうだった心はしっかりと復活していた。おそろべし女神と妖精の力。



川あそび

**シャワークライミング** | 飯南町下赤名880-3  
澄んだ清流の沢登り、天然のウォータースライダー、滝壺ダイブ。川アクティビティのフルコース。マイナスイオンと清流シャワーを浴びて、川の流れに身を任せれば、憂いも悩みも流れ去るはず。

(問い合わせ) (一社)飯南町観光協会  
写真提供: (一社)飯南町観光協会



体も心も悩みも川に流そう!

# 水遊び

**もりのすサウナ** | 飯南町小田

町から少し離れた、美しい森にある「森のホテルもりのす」。横を流れる小田川のほとりに突如現れるオシャレゾーンで、森の木々を眺め、鳥のさえずりと川のせせらぎに耳をかたむけながら入るサウナ。整わないわけがない。

(問い合わせ)  
Sauna Park Camp Morinosu  
写真提供: (公社)鳥根県観光連盟



はい、整いました。

サウナ

これが本当の「温泉プール」

**わくわくプール** | 奥出雲町竹崎

美人の湯として有名な斐乃上温泉がタンクに貯められて流れ込んだ、天然温泉の「わくわくプール」はなんと無料!湯ではないけれど冷たすぎず、夏だけじゃなく春や秋でも家族で楽しむことができる。

(問い合わせ) 奥出雲町役場建設課  
写真提供: 奥出雲町役場

プール



水鳥目線で川を満喫。

**カヌー・カヤック** | 美郷町亀村54-1

江の川で初心者でもできるカヌー・カヤック体験。季節を問わず一年中楽しめて、ひと味違った冬の雪見カヌーも乙なもの。キャンプ場や宿泊できるトレーラーハウスも一緒に楽しんで!

(問い合わせ) カヌーの里おち

カヤック



Water Activities.

# しようぜ!

サップ

# SUP

あれ、想像してたより

乗りやすい!!



**SUP** | 松江市島根町野波2487

「SUP気になるけど難しそう」「サーフィンみたいな感じ?」そんな初心者でも安心のSUP体験。上級者には地上からは見られない島根半島の風景を体感できるアドベンチャーツアーがおすすめ。日本海だけでなく宍道湖での体験もあり。

(問い合わせ) RAINBOW WAVE

出雲市平田町6123-1  
愛宕山公園

遭遇率  
90%



ゆるくてアウトホームな公園

島根県の自慢は、1にも2にも「豊かな自然」。必然的に動物と人間の距離感も近め。動物たちにたまたま会えるかも系のスポットをご紹介します。

※遭遇率はあくまでイメージです。



大山や宍道湖を望める山頂展望台や、約600本の桜や紅葉、ブランコなどの遊具もある入場無料の公園。それだけでも子連れやピクニックに最適なのに、さらにシカやヤギ、ロバ、ポニー、うさぎ、白鳥などおよそ10種類前後の動物たちに会える。かつてはカンガルーもいたとか。時間や気候によっては小屋に入っているのをご了承あれ。あくまでも動物の生活優先なところが◎。

# そとへん サファリパーク

雲南市木次町西日登

## 日登魚道水族館

いのぼりぎょうすいぞくかん

生態系を守るための水族館

ダム横に突然現れる「水族館」と書かれた大きな水槽のようなもの。「よく見られる魚」や「ごくまれにしか見られない魚」などの紹介も付いている。川の水が流れ込んでいたため濁っていて見えにくいのが、その間から時々魚の姿が！実はこの水族館、斐伊川の治水などの問題を解決すべくつくられた堰堤(ダム)によって、上流と下流を行き来できなくなった「魚たち」のための「魚道」の途中につくられたもの。遡上途中で一息つく魚の姿がみられるなんて、実はなかなかレア。

遭遇率  
60%



### 日登魚道水族館の魚たち



安来市能義平野

## 優雅な白鳥たちのOFFモード 白鳥ロード

遭遇率  
80%



白鳥といえば水辺の美しい姿をイメージしがち。でもこの能義平野を走る約6キロの「白鳥ロード」では、陸地でちょっと一休みしたり、仲良く道路を横断したりする白鳥たちの姿が見られる。昭和50年頃から飛来するようになったとされ、地元ではすっかり冬の風物詩。11月頃に訪れるおよそ千数百羽のコハクチョウは、次の3月頃まで落ち穂をつつき体力をたくわえながら文字通り「羽を休めている」。



大田市大森付近

## やたら猿がいるエリア

人間2人対猿20匹、勝てる気がしない

石見銀山近くの山道。カーブを曲がった先に現れた、猿、猿、猿。逃げる様子もないので、窓をしっかりと閉めた状態で、ビクビクしながらゆっくり車を進める。天然のサファリパーク状態。よく見ると赤ちゃん猿が背中にしがついた親子猿も。猿に出くわしたら騒がず刺激せず「邪魔してすみません」精神でそっと回避。地元の人に聞くとこのエリアは「人間より猿が多いかも」とのこと。

動物がすぐ隣で暮らす島根には、いたるところに動物の飛び出し注意を知らせる警戒標識がある。大田市の湯里付近にはあまり見かけない「猿の飛び出し注意」の標識が。でもこのイラスト…ゴリラでは??



遭遇率  
30%



出雲市多伎町多岐

## 必要なのは、運と視力。キララビーチのイルカのイルカ

遭遇率  
5%



「日本の夕陽百選」に選ばれたキララビーチ。荒波の日本海のイメージとは違ってかわって、晴れた日はコバルトブルーの美しい海が広がる人気の海水浴場で、「イルカ」に会える「ビーチ」と「？」がついている！それくらい会えたらかなりの強運の持ち主。





## 吸う豆腐

昌南町 | ただうま豆腐

豆腐は「吸う」時代へ。

国産大豆の濃厚な豆乳ににがりを加えクリーム状にした、甘さと濃さを極める新感覚の豆腐。言わずもがな栄養にも美容にも◎。スタンドパウチだから「片手が塞がってるけどどうしても豆腐が吸いたい」なんて時も安心!



## 柿つぶて

江津市 | 道の駅サンピコごうつ

おいしいものに、  
おいしいものを詰めたら、  
そりゃおいしい!

干し柿の中に、自家栽培のピーナッツ、クルミなどの入ったあんがギッシリ。おやつにはもちろん、ワインのお供にも◎。ねっとり濃いわいしさなので、水分が必須かも!?

## 弁慶の焼きどころ

松江市 | 道の駅本庄

弁慶の泣きどころならぬ。

本庄に伝わる弁慶伝説から命名。お餅の皮で地元産大粒黒豆のあんこを包んで焼いた、ありそうでなかった大判焼きのお餅バージョン! 焼き立ては黒豆あんこ餅が溶け合って最高。



# WE LOVE

家まで待てない。だからおいしい。

## 出雲坂根駅の焼き鳥

奥出雲町 | 出雲坂根駅

延命水のおともに1本いかが?

延命水で有名な出雲坂根駅のホームに漂う香ばしいタレと炭の香りはもはやテロ。電車の停車時間に人間達はスーッと焼き鳥に引き寄せられる。ビールが飲みたい...と思うのを見透かしたかのように傍らでビールも販売される。



## 千両まんじゅう

益田市 | 千両まんじゅう 本店

何両でもいけちゃいそう。

小判の形をした景気のいいおまんじゅう。もちもち生地の中は、つぶあん、こしあん、カスタードの王道3種。味の想像はつのに、小判型だとやたら美味しい!



# KAIGUI



## エゴマコロッケ

川本町 | 道の駅インフォメーションセンターかわもと

はい、またエゴマですけど何か?

「島根県エゴマ町」と言っても過言ではない川本町には、エゴマ商品がたくさん。道の駅にあるエゴマコロッケはプチッとエゴマの実際の食感が楽しい上に、体にもいい◎。

## 源氏巻アイス

津和野町 | 竹風軒

外はふわふわ、中はカチコチ。

銘菓・源氏巻のしっとりカスタード生地で小豆アイスをくるり。甘い皮とさっぱりした小豆アイスがナイスコンビ! 食べ歩きしやすい形もGOOD◎。



## ざこせん 吉賀町 | 草の庭

雑魚だけどザコじゃない。

清流・高津川の雑魚と、地元のお米、じゃがいもなどを使って手焼きでつくるせんべい。新鮮な旬の魚でつくるため種類は時期で変わる。おいしさは雑魚じゃない!



写真提供: リンバーしまね

# 十九文庫

## レア絵本だけ集めました

ドラマの撮影地さながら  
神話の舞台があつちこつちに！

### 五十猛神話

大田市



#### ▼ざっくりあらすじ

主人公はイソタケル。父・スサノオが高天原を追われ地上に来た後、二人の妹も一緒に四人で海をわた

り最初に舟をつけたのが、大田市の五十猛の海岸にある「神島」。そこから陸まで歩いた岩の道が「神上」とされる。しばらくしてスサノオは、この地で山や木、村をつくるイソタケルとその妹たちを残し、八岐大蛇退治に旅立つ。イソタケルは父を追うが、大蛇は退治済み。戦い後の荒れた地に木を植えてから村へ帰ったイソタケルは、再会した妹たちとともに「多くの場所に木を植え豊かな国をつくるのが使命だ」と新たな旅へ向かうのだった。村人たちは感謝の想いを込めて村を「五十猛」とした。

#### ▽十九のポイント

「神島」や「神上」、スサノオを見送った

「神別れ坂」、妹たちと再会した「逢浜」など、神話の中に出てくる場所が実在するので、神話をぐっとリアルで身近に感じる。

とにかく優しいこの村。

### 米くい岩

川本町



#### ▼ざっくりあらすじ

川本町が川本村だったころ。

「がっこ」と呼ばれる片足を患くした人に、村人たちは毎日ごはんやおかずをわけていた。けれどある日からがっこが来なくなる。「病気にでもなったんかいなあ？」とみんなで心配し、大きな岩の下にあるがっこの家へ食べ物をお届けるようになった。ところががっこはその家からも姿を消す。それでも村人たちは「がっこが戻るかもしれない」と食べ物をお届けつづけた。届けた食べ物はなくなくなった。届けた食糧はなくなるががっこの姿はない。がっこの家の上にある、大きな米粒が口を開けたような形の岩をみて「この岩が食うたんじゃあないか。米くい岩じゃ」と言い出した。米くい岩はいつも川本町を口を開けて見下ろしている。

#### ▽十九のポイント

「がっこ」という存在や行方など、読み手に少しの謎が残るところに、人々の口伝で伝わる民話のリアルさ

を感じて、つい考察したくなってしまっ◎

源平合戦の

スピントフストーリー。

### 琴姫伝説

大田市



#### ▼ざっくりあらすじ

石見の国の浜辺の村に、臆病者だが心のやさしい三郎太という漁師がいた。大嵐が村を襲った翌朝、浜に一人の姫と一張の琴が。三郎太とばあさまが手厚く介抱したおかげで姫は元気に。三郎太はそんな姫のために漁に励むようになる。

姫が奏でる琴のしらべは三郎太や村人たちをほげまし「琴が鳴ると大漁になる」とまどいわた。そんなある日、急に天候が悪くなった海から三郎太が戻らない。姫は嵐の浜辺で琴を奏で、懸命に三郎太の無事を祈る。海にのまれた三郎太は遠のく意識の中で琴の音を聞き、気づけば浜へ流れついていた。けれどそこに琴姫の姿はなく、その後砂浜を歩くと「きゅっきゅっ」と琴の音が聴こえるようになったという。

#### ▽十九のポイント

謎多き姫は、実は平家一門。壇ノ浦の源平合戦で敗れた後、流れ着いた浜での話。鳴砂で有名な「琴ヶ浜」に伝わる。今でも浜のほぼ中心には琴姫の碑がある。

やさしすぎる殿さまと、懲りない河童。

### えんこう祭り

江津市



#### ▼ざっくりあらすじ

町のど真ん中を江の川が貫流する桜江町には、川や自然にまつわる伝説や民話が多い。馬が大好きなカブラゴシ城の殿さまが江川で馬の背を流していると、いたずら好きのえんこう(河童)がちよっかいを出してくる。馬を川の中に引きずり込もうとするえんこうと、それを必死でくいとめる殿さま。2者の引つ張り合いは決着が

つかず日が暮れる。助けにきた家来たちによつて牢屋へ入れられたえんこうは、殿さまの夢にでてきて「もういたずらはしません」と涙ながらに猛反省。虫も殺せないほど心優しい殿さまはそれを許し、えんこうは岩に「もうけつして悪さはしません」と誓いを刻んでかえつていった。それから、水の事故からえんこうに守ってもらおうと、町では「えんこう祭り」が賑やかに行われている。

#### ▽十九のポイント

ご丁寧に誓いを岩に彫った河童だが、実はその後一度、文字をこっそり消しにきたという。ところが不思議なことにこするほどに文字は深く刻まれ、河童はあきらめていたずらをしなくなった。河童はだいたい卑怯者キャラだ。

### 石見神楽自動販売機



「浜田市ゆ〜こはたいしたもんだのお〜」みずからは「お土産付き飲料」は浜田のお囃子が流れ「石見神楽八調子は浜田でできたんで〜」

お金を入れてみると、神楽のお囃子が流れ「石見神楽八調子は浜田でできたんで〜」



わしがしゃべるよー

「お土産付き飲料」は浜田のお囃子が流れ「石見神楽八調子は浜田でできたんで〜」

# 珍 浜田の 自販機

## 西部に何やら異変あり!

「世界に誇る“石見神楽”と“浜田の夕日”の魅力をもっとたくさんの人に知ってほしい。」そんな溢れる熱い思いを、自販機に込めはじめた浜田市。そしてその自販機、何やらいろいろ喋るし、飲み物じゃないものも出てくるらしい。

聴かずかしい…もう一回!

### 浜田の夕日自動販売機



わたしがしゃべるよー

ラッピングのテーマは「忘恥ずかしい。セリフのパターンられない浜田の夕景。設置場所によって異なるが、正面に「石見壺ヶ浦」の夕日、側面に日本の棚田百選に選ばれた「室谷の棚田」の夕日が入る。「夢見がちでちょっと恥ずかしくなるようなセリフをしゃべる女の子(仮名:タ子ちゃん)の声の流れるとの説明文をみて、どのくらい恥ずかしいかが気になり早速お金を入れる。」

「浜田って、夕日がホントにきれいよね〜」わっ! すてき♡「これくらいは許容範囲。♡」これくらいは許容範囲。♡「へ〜え♡太陽と海がキスしてるみたいだもんね〜♡」これはちょっとどこか結構タ子ちゃん(仮名)。



海士町といえは言わずもがな、「キンニヤモニヤ祭り」。ここには海士町の自然、文化、人情のすべてがつまっているという。海士町はそんなキンニヤモニヤ祭りを愛し、誇り、語り、踊り、踊る。町にはキンニヤモニヤ祭りにもちなんだ物が溢れている。

まず、海士町のフェリー乗り場、レストラン、売店などが入っている施設の名称がすでに「キンニヤモニヤセンター」。その横には「キンニヤモニヤ海士町観光協会」、外には「キンニヤモニヤ踊りの像」がお出迎え。看板はだいたいしゃもじの形。なんでも、まかないをしてきた女性が、



まず、海士町のフェリー乗り場、レストラン、売店などが入っている施設の名称がすでに「キンニヤモニヤセンター」。その横には「キンニヤモニヤ海士町観光協会」、外には「キンニヤモニヤ踊りの像」がお出迎え。看板はだいたいしゃもじの形。なんでも、まかないをしてきた女性が、



しゃもじを手にして踊りだしたのがキンニヤモニヤの始まりだとか。しゃもじサブレ、しゃもじせんべい、オリジナルキャラクター「しゃもねこ」。しかし海士町

で出会えたのは、そんなキュートなしゃもじアイテムだけではない。ふと目に止まったカラフルな「明屋」のバス停。三角屋根の青い小屋の中には、手描きの魚やペンギン、海のものだけかと思いきや、なぜか特大の青りんごやバナ



ここだけが特別なのだと思いい「凝ったバス停だなあ」程度の気持ちで他の場所へ移動。ふと見ると他のバス停の標識がまた



ナもある。子どもたちが自由に描いたのかとても可愛らしい。そして何気なく前を見ると、バス停留所の標識が



しゃもじ。…行けども行けどもバス停がしゃもじ。しゃもじからしゃもじへの移動。だんだんしゃもじに先回りされている気分になってきた。「一体何本のしゃもじが!? 調べてみると、海士町のバス停はなんとすべてがしゃもじ。観光客の多い場所だけでなく、近所の人しか使わなそうなる山の奥のバス停も、のどかな風景の中にちょこんと一本のしゃもじが佇む。まさにしゃもじでつながる島。海士町の深いしゃもじ愛を感じるのだった。」

# 絶対、人と被らない土産

普通のお土産、卒業しない？

うまい！山田くん  
もう一枚！

この厚さ、ざぶとんを越えてマットレス。

## 01 ミニ座布団揚げ

邑南町 | ただうま豆腐

まるで「ざぶとん」の様に分厚い、豆腐屋  
こだわりの油揚げ。そのまま焼いてステーキ  
にしたら、ネギと大根おろしをたっぷり  
乗せて…いや座らせてみて。



日常に、もっと割子を。

## 02 割子そばポーチ with 考える割子そば キーホルダー

出雲市 | (有)マルニシ物産  
鳥取県伯耆町 | (有)山陰物産

02

何考えてるの？



リアルな割子そば描写で、遠目みると本物の割子そばに見えるどつきりポーチ。デスクに置いておけば二度見されること間違いなし。考える割子そば君の薬味は、ネギ、のり、卵、もみじおろし。

隠岐・西ノ島の焼火山の麓にある  
焼火窯でつくられる陶芸は、釉薬が  
周辺の樹木や海藻で、素地が  
隠岐の赤土で作られる。  
そしてなぜか河童の  
作品が多い。とぼけた  
表情がなんとも  
キュート。

写真提供: 隠岐・西ノ島焼火窯



充実の河童ラインナップ。

## 04 夫婦河童置物 西ノ島町 | 焼火窯

04

05 お土産にしたいのに、しにくい!!

## 05 鮮魚 大田市 | 道の駅いせ仁摩



大田市には、早朝に近海へ漁に出てその日のうちに水揚げする鮮度自慢の「一日漁」という伝統漁業があり、道の駅には、とれたて新鮮な海の幸が並ぶ。カレイや鯛などのお馴染みの魚から、のどぐろやあなごなどの高級品、突然の巨大なイカなど、漁によって変わるのがおもしろい。

03

猫用じゃなくて人間用です。

## 03 またたびドリンク

美郷町 |  
だいわ特産加工センター  
山里の会

昔からまたたびの木がたくさん  
自生する美郷町で、地域の人  
達がまたたびを生かした商品  
を開発。子どもも飲めるまた  
たびドリンクは「見た目のあやし  
さに反して飲みやすい」「飲む  
とぼかぼかした」などと好評。



06 普通のかるたじゃ物足りない方へ。

## 06 後鳥羽院・遠島百首かるた 海士町 | つなかけ

後鳥羽上皇が隠岐に遷り1~2年の間に詠んだ百首でつくるかるた。海士町で年に1回行われる競技かるた大会のかるたでもある。都から島へ流された頃の和歌なので、悲しみ多め。



写真提供: 隠岐桜風舎